愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、2年間のゼミ活動を通して日本の子どもの福祉と社会的養育の現状・課題を理解し、専門職として子どもや家族を支援するために必要な資質と人間性の向上および基礎的な実践力を育成することが目的である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	自己紹介においては自己プレゼンテーションに取り組ませる。ディスカッション及びディベート並びにグループワークを取り入れた演習活動を展開するとともに、児童福祉施設等におけるフィールドワークを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 自己紹介と役割分担	履修登録の確認とオリエンテーションを行う。 一人ずつ自己紹介をさせた後、役割分担を決める。	□
第2回	プレゼンテーション ゼミ生間の相互理解と交流	テーマに基づく自己開示とゼミ活動への抱負をプレゼンテーションさせ、相互理解を通してゼミ生間の交流を促進する。	□
第3回	ゼミ活動の目的と理解	ゼミ活動の目的を明らかにしてゼミとは何かをディスカッションする。	□
第4回	年間活動計画の検討	年間のゼミ活動計画についてディスカッションする。	□
第5回	年間活動計画の策定	年間のゼミ活動計画を策定する。	□
第6回	フィールドワークの実施に向けて	フィールドワークに向けての準備と心構えについて指導する。	□
第7回	フィールドワーク①準備・事前学習	フィールドワーク①の準備と事前学習を行う。	□
第8回	フィールドワーク①実施	児童福祉施設等の現場におけるフィールドワーク①を実施する。	□
第9回	フィールドワーク①の振り返り	ディスカッションによりフィールドワーク①の振り返りをさせた後に教員からの講評と事後指導を行う。	□
第10回	ゼミ内交流会	ゼミ内での交流会を企画して実施する。	□
第11回	フィールドワーク②準備・事前学習	フィールドワーク②の準備と事前学習を行う。	□
第12回	フィールドワーク②実施	児童福祉施設等の現場におけるフィールドワーク②を実施する。	□
第13回	フィールドワーク②の振り返り	ディスカッションによりフィールドワーク②の振り返りをさせた後に教員からの講評と事後指導を行う。	□
第14回	前期ゼミ活動の総括と課題の確認	前期フィールドワーク①②の報告書を作成させてゼミ活動を総括し、各自の課題を確認する。	□
第15回	夏休みの送り方と後期計画	夏休みの過ごし方を確認し、後期の活動に向けての計画を確認する。 今後のゼミ活動等への抱負と決意をプレゼンテーションさせる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として与えられたテーマに基づくプレゼンテーションや課題の準備、実施するフィールドワークや学外演習に関連する語句、専門的知識等に関する下調べと、科目フォルダ内の課題に関する下調べを概ね2時間行い、事後学習として毎回のゼミ活動を振り返る800字程度のレポート作成を概ね2時間行い科目ファルダに提出する。事前・事後学習を合わせて4時間行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業時間内に口頭でフィードバックする他、振り返り、報告書等のレポート課題に関するフィードバックは科目フォルダを活用して行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	小学校教員・幼稚園教諭・保育士になるための表現力、対人関係力、探求心、さらに取得を目指す資格や免許に必須の基礎的な資質能力を身につけられたか。
	◇ 2018子ども発達DP2	小学校・幼稚園・児童福祉施設における養護・教育・保育に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。
	◇ 2018子ども発達DP3	現代の教育・保育・児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い実践力を習得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プレゼンテーション・提出物　30%
フィールドワーク　40%
自己開示とコミュニケーション　10%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		